



例題と解説

例題 1

次の計算をなさい。整数になる場合は整数で答えなさい。

(1) $\frac{3}{10} + \frac{2}{10}$

(2) $\frac{2}{8} + \frac{4}{8}$

(3) $\frac{5}{6} + \frac{1}{6}$

答え (1) $\frac{5}{10}$ (2) $\frac{6}{8}$ (3) 1

[例題 1 の解説]

分母が同じ分数の足し算では、分母はそのまま分子だけを足し算します。

$$\frac{2}{10} + \frac{5}{10} = \frac{7}{10}$$

(1) $\frac{3}{10}$ は $\frac{1}{10}$ が3個分です。 $\frac{2}{10}$ は $\frac{1}{10}$ が2個分です。あわせて $\frac{1}{10}$ が5個分なので $\frac{5}{10}$ となります。 $\frac{3}{10} + \frac{2}{10} = \frac{5}{10}$

(2) $\frac{2}{8}$ は $\frac{1}{8}$ が2個分です。 $\frac{4}{8}$ は $\frac{1}{8}$ が4個分です。あわせて $\frac{1}{8}$ が6個分なので $\frac{6}{8}$ となります。 $\frac{2}{8} + \frac{4}{8} = \frac{6}{8}$

(3) $\frac{5}{6} + \frac{1}{6} = \frac{6}{6} = 1$

ポイントまとめ

- ・分母が同じ分数の足し算では、分母はそのまま分子だけを足し算します。